

船來ノ品ニ支那ト西洋ト二種アリコノ二種ニテ商法ヲ行ヒエ  
 業ヲ興スハ必ス己ガ身代限ラシヨリ離ルヘンノ圖

譬ハ西三向テ馳セ行ク蒸氣船ノ中ニテ何ホド東ニ向テ進ミ行クト  
 モソノ船ノカニ引カレテ西ニ退カサルヲ得スソノ故ハソノノ身モ足  
 ノ船ノカニ引カレテ西へ退クガ如ク今日我日本ノ衣食住ノ品ヲ棄テ  
 外國ノ衣食住ノ品ニテ商法ヲ行ヒ工業ヲ興スハソノ商法ヤ工業ニ  
 テ國益ヲ興シ己ガ身代ヲ富マスコト、思ヒナガラ知ラズ、日々國  
 財ヲ減シ國命ヲ縮メ己ガ身代ノ命ヲ縮メサルハソノ故ハ船來品ニ  
 テ商法ヲ行ヒ工業ヲ勤ムルハ理トシテ日本ノ商人ニアラス日本ノ職人  
 ニアラサルヘシ故ニ船來品ニテ商法ヲ行ハスモノハ外國人ノ賣子ニテ外  
 國人ノ手代番頭ナルヘシ又船來品ニテ工業ヲ專ラ興スモノハ外國人ノ下  
 働キナレハ外國人ノ下職人ナルヘシコトヲ以テ船來品ニテ商法ヲ行ヒ工  
 業ヲツトムルハ喻ヘハカノ西ニ向テ馳セ行ク蒸氣船ノ中ニテ東ニ向テ行  
 ク人ノ如ク如何ホド商法ニ骨折リ工業ニ勉強イタストモソノ元金モ利  
 子モ九デカノ船來品ノ船ニ載セラレタルユヘ己ガ身代ノ利ヲ増シ  
 國益ヲ興スコト、思ヒナガラ知ラズ、元金モ利息モ二ツナカラ日  
 本ノ益ヲ興スニアラス皆悉ク外國ノタメニ利益ヲ興ス道ナラサルハ  
 ナレ故ニ二倍上ガリニ船來品ヲマスキ盛大ニ弘ムルホド三十五萬方  
 全國ノ人民ノ身代ニ併セテ己ガ身代ノ命ヲ縮ムルコトモ尚マスキ急  
 ルヘシ況ヤ船來品ノ輸入ニ就テハ日本ノ金貨ノ輸出スルニナラスカ  
 ノ船來品ノタメニ妨ケラレテ我日本固有ノ衣食住ノ産物ノ潰レタルモ  
 亦莫大ナラスヤ。サスレハ船來品ノ品々ニ輸出スルトコロノ金貨ガ一千方  
 圓ナレハソノ輸入ノ船來品ノタメニ我國固有ノ産物ノ潰レタルコトモ亦  
 一千万圓ナルユヘ双方ノ損耗ヲ合併スレハ二千万圓ナラスヤ船來品ノ輸  
 入スル何品ニ限ラストシテ如此ニ重ノ損トナラザルハナレ然ニ全國三十五  
 萬方人ガ一人ゴトニ三厘七毛宛船來品ヲ用ルトスレハ一ケ年ノ終リハ外  
 國ニ輸出スルトコロノ金貨ガ三十五萬圓ナラスヤソノ故ハ一圓六十貫文ナ  
 ルユヘソノ十貫文ヲ三百六十五日ニ割リ附ケレハ一日ニ三厘七毛ニ當レリ故ニ  
 日々二厘七毛宛船來品ニ費ストスレハ一人ニテ一ケ年ニ費ス金貨ガ一圓  
 トナルユヘ三十五萬方人ニテ三十五萬圓トナルニアラスヤ僅カ人々二厘  
 七毛ヲ費ストコロノ積リサヘ一ケ年ノ終リハ三十五萬圓トナルニアラス  
 ヤマレテ況ヤ日々大金ヲ費ス船來品ニ於ケルヤ世人カハル恐ルヘキコ  
 トヲ何ユニ畏レサルヤ時ニ世人多クハ船來トイヘハ西洋品ニ限ルコト  
 と思ヘトモ支那船來品モ亦夥シ日々狀紙書籍文人ノ用ル唐紙ノ  
 ミトトモ廣大ナルコトナルヘシ況ヤ文房ノ器煎茶入用ノ品紫檀タカヤ  
 サンノ諸器類ヨリ日用ノ箸ヲ紫檀檀タカヤサンヲ用ユルモノ國ヲ潰ス  
 奢リト云ハサルヲ得ズ人々コノ行ク末如何センヤ古人ノ歌ニアガニ物思  
 ヒスツルナ海山ノ塵ヒトツタモ國ノミタカラト詠レシ如ク仰キ其ノ  
 ハ愛國ノ志ヲ厚ク發シ我國産ノ外ニ商法工業ヲホメサレ

明治十三年一月出版

作者 佐田 孫六郎  
 編輯 佐田 孫六郎

東京小石川戸崎町六十七番安南寺止宿



富國歩三初メ